

2022年1月7日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾における協生環境の取り組み — 「女性のからだ支援—Breeze プロジェクト」について—

慶應義塾では、協生環境に関わるテーマへの取り組み「女性のからだ支援—Breeze プロジェクト」の一環として、生活不安を抱える本学の女子学生に対して、生理用品の無償配付をこれまで二度にわたって実施してまいりました。今後もこの取り組みの継続を予定していますが、これとは別に、各キャンパス内の女性個室トイレに生理用ナプキンを常備し無料で提供する「OiTr (オイテル) (※1) ディスペンサー」を設置し、2022年1月より運用を開始いたしました。

なお、今後、慶應義塾大学病院、本学保健管理センターとの連携による「女性のからだ・男性のからだに関する相談」窓口の設置や、専門医等によるミニレクチャーなどの啓発活動も展開し、塾生、教職員の「からだのメンテナンス支援を通じたウェルネスの促進」のため、多角的かつ積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、プロジェクトの広報のための専用 Web サイトも本日付で公開いたしました。

女性のからだ支援—Breeze プロジェクト <https://www.diversity.keio.ac.jp/breeze/breeze.html>



1. 今回の取り組み

①生理用ナプキン無料ディスペンサーの各キャンパストイレへの設置 (2021年12月～)

三田 (18台)、日吉 (18台)、矢上 (6台)、湘南藤沢 (12台)、芝共立 (6台)、信濃町キャンパス (12台) の各キャンパストイレに、合計 72 台を順次設置していきます。



②女性のからだ・男性のからだ相談（2022年1月11日～）

慶應義塾の教職員や学生らを対象に、慶應義塾大学病院や本学保健管理センターの医師が、女性のからだ・男性のからだに関する無料相談（要予約）を行います。産婦人科系、乳腺関連、泌尿器科系の悩みについて、日吉キャンパスにおいて月1回（乳腺関連、泌尿器科系は年4回予定）、対面にて相談を受け付けます。他キャンパスからのオンラインでの相談も可能で、相談を元に他機関への紹介状の発行も行います。

<http://www.hcc.keio.ac.jp/ja/admissions/karada-soudan.html>

2. 背景

慶應義塾は、2018年4月に学内に「慶應義塾協生環境推進室」を設置、2019年9月「慶應義塾 協生環境推進憲章」（※2）を定め、以来、学内にてさまざまな取り組みを推進してまいりました。「生理の貧困」をはじめとする、女性のからだに関する諸問題にもいち早く取り組み、2021年に発足した「女性のからだ支援－Breezeプロジェクト」では、生理用品の無償配付（7月、9月）や、慶應義塾大学病院の医師らとの連携による「ミニレクチャー＋学生との座談会」（※3）などの企画を行ってまいりました。とりわけ、アンケートなどでもさまざまな理由から生理用品のトイレ個室への常備への要望が多く寄せられ、「OiTr（オイテル）」の各キャンパスへの導入を早急に検討し、実施にいたりしました。

※1：オイテル株式会社（個室トイレに生理用ナプキンを常備し無料で提供するサービス）

<https://www.oitr.jp/>

※2：「慶應義塾 協生環境推進憲章」

<https://www.diversity.keio.ac.jp/about/charter.html>

※3：女性のからだ座談会「専門医に聞いてみよう」

<https://www.diversity.keio.ac.jp/event/2021/11/post-4.html>

3. 今後の展開

本学では今後もこれまでの取り組みを継続させていくとともに、より一層学内の協生環境を充実させてまいります。

- ・生理用品の無償配付（第3回）：2022年1月中旬頃を予定
- ・専門医による女性のからだ・ミニレクチャー他（第2回）：2022年1月26日（水）開催予定（学内限定）



慶應義塾は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- * ご取材の際には、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。
- * 本資料は文部科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/>